

SolidDrive SD-1

SoundTube / SolidDrive 日本語取扱説明書

壁・天井への設置・使用ガイド

優れた音響体験を実現

Induction Dynamicsの豊富な音響製品ラインアップにより、設置条件を問わず理想的な音響システムを構築できます。厳選した部品・材料を使用し、独自の実証済み技術を数多く採用しています。

製品仕様

形式	フルレンジトランスデューサー
インピーダンス	8 Ω
周波数特性	70 Hz - 15 kHz
推奨アンプ出力	10 - 100 W
寸法	本体径2.28インチ × 高さ2.08インチ、取付プレート径3.5インチ
質量	1.2 lb / 0.54 kg
UL登録	1480 / 2043

注意：カナダで設置する場合は、Canadian Electrical Code C22.1、Part 1に従ってください。

壁内・天井内取付ブラケットの仕様

形式	特許取得済みのバランス式片持ちバネブラケット
構造	高耐久の亜鉛メッキ鋼製
寸法	120C：高さ2.0 × 幅17.5 × 奥行5.0インチ 160C：高さ2.0 × 幅25.5 × 奥行5.0インチ 240C：高さ2.0 × 幅13.5 × 奥行5.0インチ
質量	1.0 lb / 0.45 kg



警告：使用前に説明書をお読みください。火災や感電の危険を減らすため、雨や湿気にさらさないでください。清掃前に電源プラグを抜き、湿らせた布で清掃してください。ユーザーが修理できる部品はありません。修理は資格のある担当者へ依頼してください。

SD-1 / 準備・ブラケット取付

SoundTube / SolidDrive 日本語取扱説明書

設置を始める前に

SD-1を壁や天井の内部へ設置し、役員会議室、ホームシアター、分散音響システムへ音を届けられます。

本体1台とユーロスタイルコネクター付き配線ハーネスを付属します。用途により追加の取付部材を本体とともに注文するか、施工者が用意します。

石膏ボードへの設置では、本体1台につき専用壁内取付ブラケット1個を用意します。ブラケットには本体固定用の#8-32 × 5/16インチのプラス皿小ネジ4本を付属します。間柱や天井根太の中心間隔に合わせて、12OC、16OC、24OCを注文時に指定します。施工者は1 3/8インチの石膏ボード用ネジ4本と、3M® Super 77スプレー接着剤1缶を用意してください。

既存の石膏ボードに後付けする場合は、ボードの一部を取り外し、本体設置後に戻す必要があります。「既存の石膏ボード」と記した手順に従ってください。新築時は、それらの手順を省略してください。

手順1：既存の石膏ボードに開口を設ける

既存の石膏ボードにブラケットを取り付ける場合は、長方形の開口を設けます。推奨する最小開口は高さ約15インチ、幅は隣接する間柱の幅を越える大きさです。ブラケットの固定、石膏ボードの継ぎ目のなじませ・仕上げを行いやすくし、適切な音の分布と最適な性能を得られます。

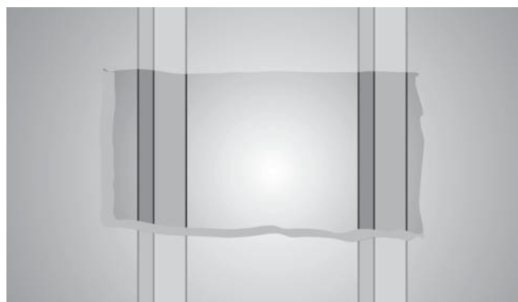


図1：間柱にブラケットを取り付けられる大きさの開口

手順2：間柱・天井根太へブラケットを固定する

ブラケットを間柱や天井根太の間に置き、1 3/8インチの石膏ボード用ネジ4本で固定します。各フランジの2つの穴へネジを入れ、間柱・根太の正面へ固定します。ネジ頭をフランジ面と同一面まで沈め、石膏ボードがフランジに密着するようにしてください。注意：既存の石膏ボードへの設置で別売ヒートシンクを使用する場合は、手順3に従って本体をブラケットへ固定し、ヒートシンクを本体にかぶせてから、ブラケットを間柱に取り付けます。付属の小型六角レンチで固定し、ネジを傷めるため締めすぎないでください。

SD-1 / 本体固定・配線・接着

SoundTube / SolidDrive 日本語取扱説明書

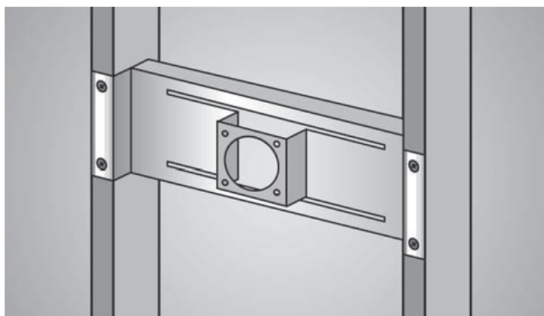


図2：間柱に固定した取付ブラケット

手順3：本体をブラケットへ固定する

ケーブルをブラケット正面の丸穴へ通します。本体も同じ穴へ入れ、大型取付ベースを石膏ボード側に向けてブラケット正面へ密着させます。ベースの取付穴をブラケットのネジ穴へ合わせ、プラス皿小ネジ4本で確実に固定します。

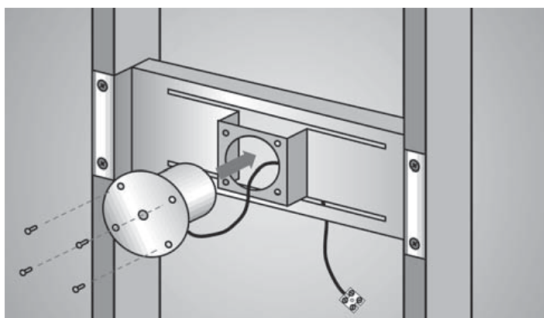


図3：本体をブラケットへ取り付ける

手順4：電気配線を接続する

SD-1の音声ケーブル先端のユーロスタイルコネクターを使用して、スピーカーケーブルを接続します。極性は図に示されています。

注意：カナダで設置する場合は、Canadian Electrical Code C22.1、Part 1に従ってください。

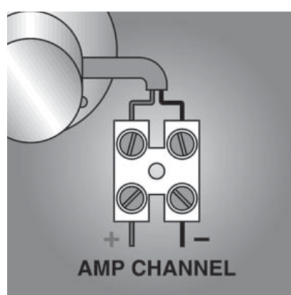


図4：ユーロスタイルコネクター
AMP CHANNEL：アンプのチャンネル

手順5：石膏ボードと本体のベースへ接着剤を塗る

可能であれば、石膏ボード中央付近、または端から離れた場所にSD-1を配置します。ベースが接触する位置を決め、3M® Super 77コンタクトスプレー接着剤を十分に吹き付けます。本体の大型取付ベースにも薄く吹き付けます。周囲をマスキングし、飛散を防ぐことを推奨します。注意：石膏ボードと取付ベースの両方に接着剤を塗らないと、正常に動作しません。

SD-1 / 壁の仕上げ・EQ

SoundTube / SolidDrive 日本語取扱説明書

手順6：既存の石膏ボードを戻す

切り取った長方形の石膏ボードを戻す際は、切断部と既存のボードの間を均一に密閉することが重要です。適切な音の分布と最適な性能のため、ビニル系ではない速硬化型ジョイントコンパウンドで隙間を完全に埋め、その後、通常のテープ処理、研磨、仕上げを行います。

手順7：新しい石膏ボードを取り付ける

スプレー接着剤が固まる前（約10分以内）に、新しい石膏ボードをすぐに取り付けます。最終位置を決める前に調整できるようにし、間柱や天井根太へ合わせてネジ止めします。ボード間をジョイントコンパウンドで埋め、通常のテープ処理、研磨、仕上げを行います。継ぎ目を埋めることで音の分布と全体の音質が改善します。

手順8：イコライジングする

設置面の材質は音響性能に大きく影響します。最適な音響体験を得るため、施工者は必ずSD-1システムにEQを適用してください。別売のSolidDrive Drywall Passive Equalization Module（UL認証なし）、または一部のレシーバーの自動イコライジング機能を使用します。

設置完了：Induction Dynamics SolidDrive SD-1の音響システムをお楽しみください。

高出力が必要な場合の設置

ホームシアターなど高出力が必要な用途では、対象チャンネルごとにSD-1を2台使用します。ホームシアターの左・右・センター、高出力ステレオの左・右などが該当します。各チャンネルの2台を並列に配線します（図5）。最大出力を得るため、各チャンネルに20平方フィート以上の面積を確保してください。

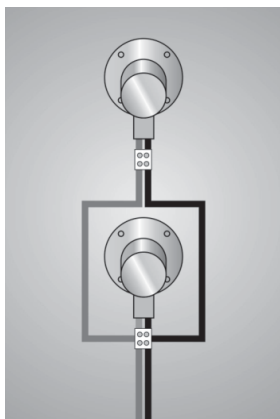


図5：並列配線

保証：SolidDrive、SolidDriveサブウーファー、A4アンプは購入日から7年間保証されます。誤使用や改造を行うと保証は無効となります。